

山行報告

■六甲地獄谷・アイゼントレ

<アルプ>

- 日 程：12月12日(日)
- 参加者：L竹内 SL須増 尾内 笹木 砂川(延) 平井 三木(悦)
- 行動記録：芦屋川駅 8:55 発～高座ノ滝(9:20 着)9:25 発～地獄谷(9:30 着・アイゼン装着)10:00 発～A懸垂岩(11:15 着・登下降トレ)12:30 発～ピラーロック(12:55 着・昼食)13:35 発～風吹岩(13:42 着)13:48 発～保久良神社(14:25 着)14:40 発～岡本駅(15:00 着)

◆アルプの会、初めてのトレーニング山行に参加して

笹木

10本爪アイゼン、ピッケル、ハーネス、ヘルメットと、普段の山行では使わない装備品をザックに押し込み、長くて入らないピッケルは両手に抱えて、「いざ！出陣！」の如く、ちょっと人目を気にしながら電車に乗りこみました。

芦屋川から高座ノ滝を通り、地獄谷に下りたところで、ストレッチをしてトレーニング開始です。まずアイゼンを装着し、ヘルメットを被り、体にスリングを着け、ピッケルの使い方を教えていただいて、ザックを背負って、さあ出発です。初っ端からステップの付いた大きな岩をアイゼンで登ります。このルートは、前に登山靴で登ったことはあるけれど、アイゼンで登るとなると全く別物でした。手で掴む岩をピッケルで確保し、足の置き場を見定めてアイゼンの爪を立て、滑らないよう、踏み外さないよう、靴で登るよりはるかに神経を使って、一步一步慎重に登りました。

前に迫り出したステップのない高い岩では、リーダーに上からロープで補助してもらって、時には腹筋が攣りそうになるのを堪えながら、約一時間奮闘し、何とかリーダーについて谷を登り詰めることが出来ました。「ここを登れたら冬山に行けるね。雪はこんなに難しくないよ」と、Mさんの声かけにホッと、緊張がほぐれたのも束の間、尾根に出て少し歩くと次に待っていたのはA懸垂岩でした。「はあー、これがロッククライミングの岩か」と見上げて、通り過ぎると思っていたら、ここでザックを下ろし、皆さんがハーネスを付け始めました。既に岩の上に登っていたリーダーから「笹木さん、受け取ってー」とロープとハーネスが降ってきました。手に取るのも初めてです。どうやって付けるの？前か後ろかも分かりません。Mさんに教えてもらいながら装着しましたがドキドキです。



【ピラーロック】

一番にSさんが登りました。今まで映像では気楽に観ていたけど、今度はそうは行きません。Sさんの手や足の運びを目で追いながら「どうしょう、自分に出来るだろーか」と不安半分、ワクワク半分の気持ちで順番を待ちました。

リーダーにハーネスとロープをカラビナでしっかり結束してもらって、「はい！行きます！」と手を挙げました。そこから登る方向を見てはステップを探し、三点確保に集中して一步一步登って行きました。中間の迫り出した岩辺りで、ステップが見えなくなり焦りましたが、下から「右や！右に手を伸ばして！」と指示をもらって、右側に体を傾けて、エイヤーと伸びあがると、後はポンポンと登ることが出来ました。てっぺんに着いたら景色を眺めるところではありません。今度は下りる番です。下を見おろすと足がすくむようでしたが、見守ってくれる皆さんの顔が見えました。下りるしかありません。ロープを持って後ろを向いて恐る恐る一步を踏み下ろしました。最初はロープと合わず慌てましたが、ロープをしっかり握り体を起こすと、不思議と怖さはなくなり、ロープに体重を預けて足を下ろしていくことに集中出来ました。地面に足が着いた時、皆さんの拍手が聞こえてとても嬉しかったです。緊張で足がガクガクしていましたが、初めてのことに挑戦できた喜びでいっぱい、充実した一日となりました。

温かく見守り、声かけし、ご指導くださったリーダー始め、同行の皆様、大変お世話になりました。有難うございました。

■^{だいしやま}大師山（231m）と城崎温泉

<ゆっくりズム>

- 日 程：12月14日(火)
- 参加者：A班 L藤原(千) SL橋本(万) 阿部 小田 佐野 澤田(律) 立花 春本
B班 L尾内 SL三木(悦) 砂川(延) 徳本 待場 村上 矢根
- 行動記録：城崎温泉駅 10:35 発～城崎文芸館(10:40 着) 10:50 発～大師山(12:10 着) 12:40 発
～温泉寺薬師堂(13:10 着)

◆とても楽しかった大師山と城崎温泉!!

阿部

2020年2月のスノーシュー以来の参加となり不安でしたが、終わってみたらとても楽しく歩いて、温泉も気持ち良く、海鮮丼も満足の快適な1日でした。

久しぶりにJRに乗り、会の方々と話しながらあっと言う間に城崎温泉駅へ到着。

10日に1日あるか無いかの快晴で、登山口より登り始めました。緩やかな山道をゆっくり登って頂いたので息も上がらず、大師山頂上へ落ち葉を踏みしめながら、とても気持ち良く歩いて登山できました。大師山頂上でベンチに座り、眼下に雲一つない青空、日本海、円山川、城崎温泉市内を眺めながら、おにぎりと味噌汁（久しぶりに食べました）



その後皆さんは下山道へ。私一人だけは股関節に心配があったので、ロープウェイに乗りま

した。たったの6分間、あつと言う間でした。

下山後は、2人以上のグループに分かれて温泉に浸かり、湯上り後には少し早い夕飯かな？
美味しい海鮮丼を頂き、食後コーヒータイトムやお土産もゆっくり選べました。

藤原リーダーやスタッフの皆さん、一緒に山行した皆さんへ、わがままな私も参加させて頂いて本当に有難う御座いました。又、登れそうな山行があれば、参加したいと思いました!!

■塩屋駅から須磨アルプス

<ゆっくりリズム>

●日 程：12月19日(日)

●参加者：1班 L砂川(延) SL平井 田中(重) 西川 橋本(万) 春本 福原

2班 L尾内 SL尾越 生永 小田 兼本 佐野 澤田(律) 立花

3班 L藤原(千) SL森本 藤原(浩) 松本(聡) 矢根 山本(正) 吉村

●行動記録：JR 塩屋駅 10:05 発～旗振山(11:05 着)11:10 発～鉄拐山(11:25 着)11:30 発～おらが茶屋(11:45 着・昼食) 12:20 発～高倉台団地(12:30 着)～梅尾山(12:50 着)

13:00 発～横尾山(13:15 着)13:25 発～須磨アルプス(13:35 着)13:45 発～東山(14:00 着)14:05 発～板宿八幡宮(14:40 着・ストレッチ)14:55 発～板宿駅前(15:10 着・解散)

◆初めての須磨アルプス

福原

楽しみにしていた須磨アルプス。それと言うのも3年前に高御位山遊会に加入した翌年に新型コロナウイルスが流行し、六甲山行に行けなかったのです。

この日は風がとても強く寒い日でした。塩屋駅を降り急斜面の住宅街を抜けると直ぐに山道に入りました。林の中を上り須磨浦公園に出て、旗振山、鉄拐山を登った後少し下ると高倉台の団地に出ました。道標には「六甲全山縦走コース」と書いてあります。団地の中を通るコースもあるのかと驚きました。次に歩き進めると目の前に整備された街中でよく目にする普通の階段が354段(西川さんが数えられました)もありそれを一気に上り梅尾山にきました。途中

上から見えるのは須磨の料金所で、神戸へ行く時は必ず通る所なので不思議な感じでした。梅尾山では展望台がありそこからは神戸市街、淡路島遠くは大阪市街を望め素晴らしい眺めでした。ここでは見晴らしが良く景色が良いのか、外国人の方や観光客が多くみられました。須磨の市街からのハイキングコースになっているのでしょうか。この後いよいよ



須磨アルプスを登りました。短い区間ですが岩山で馬の背もあり須磨アルプスと呼ばれるのに納得でした。

班ごとに記念撮影を撮った後、東山へ上り板宿の市街まで出てきて終了となりました。

今回は六甲全山縦走コースのほんの一部ですが、全縦にはどんなコースが有るのか歩いてみたいと思いました。

◆須磨アルプス山行記

兼本

1, この山行は、昨年来のコロナ禍による度々の緊急事態宣言に伴って、二度・三度延期されたプランです。リーダー（会長）が、諦めずに実現にこぎつけて下さったことに先ず感謝致します。

2, 当日は晴天の下、10時JR塩屋駅前に集合。山電組・JR組合わせて22名（内、男性が珍しく約半数）が三班に分かれて出発。旧全縦コースではなく、塩屋コースをとり住宅地の路地の急坂を抜けると山道に入りました。10時45分噴水広場にて休憩。須磨浦山上遊園地の思い出話に花が咲きました。その後、遊園地内を通り抜けて旗振山（252m）へ。この山名は、その昔、大坂堂島の米相場を岡山に伝える中継点としてここで旗を振ったのが由来とか。この山上にある旗振茶屋は、毎日登山の拠点として「旗振山登山会署名所」が併設されていた。また、茶屋前には旧摂津と播磨の国境の表示板があります。

茶屋を過ぎ、二つ目のピークの鉄拐山（234m）に11時25分着。景観伐採のおかげで眺望が素晴らしい。先へ進むと広場に出て、コンクリート作り二階建てのおらが茶屋も見える。外国人を含むグループもいて、神戸の山らしい雰囲気。ここで、長めの昼食休憩をとる。

3, 昼休憩後、12時15分おらが茶屋前を通り、すぐに下りのコンクリート階段に入り、下に高倉台団地が見える。スーパーの前を通りレトロな団地群を抜けると、このコース唯一の難所の400段の階段を登らなければならない。当日は風も強かったのでストックも使い登り切り、12時50分梅尾山（274m）着。ここには木製展望デッキがあり、海を一望できる。



更にひと登りすると、四つ目のピーク、須磨アルプス最高峰（312m）の横尾山に着く。この先の馬の背通過に備えて休憩をとる。

そして、待望の須磨アルプス核心部の馬の背へ進む。風化花崗岩の痩せ尾根は本当に絵になる山景で、別世界の趣きです。注意深く進み、1時45分「名勝馬ノ背」の表示版前にて、各班の集合写真を撮る。2時10分、最後のピーク東山（250m）着。ここは、全縦西コースと板宿方面との分岐点になっており、我々は一 route 板宿へ。

2時45分、ゴールの板宿八幡神社に全員無事に着きました。ここでMさんのしごきのストレッチを終えて、山電板宿駅に向かいました。

4, この山行プランは、駅近で歩行時間も程よく絶景ありで、また来たいコースでした。砂川会長はじめ、各リーダー及び参加者の皆さんありがとうございました。

◆須磨アルプスを楽しむ山行で

吉村

今回はJR塩屋駅より、総勢22名で出発して、すぐ登山道へ旗振山から大橋、東播方面が一望でき花見の頃は再訪したい。

鉄拐山から「おらが茶屋」付近で昼食小休憩の後、高倉台団地を経て400段程ある階段は膝に応えたが、手摺に助けられ登りきると梅尾山展望台より瀬戸内の輝きが目に飛び込んでくる。

いよいよ須磨アルプスに入る。梅尾山から馬ノ背がアルプスの核心部。花崗岩等が風化して



滑りやすい岩場、やせた尾根を慎重に進む。何度訪れてもいいものだ。

ほっと吐息、写真に納めて東山へ。六甲全縦との分岐部を板宿方面へ下る。

時々、神戸市街地を一望しながら八幡神社へ。丁寧なストレッチの後、山電板宿で別れ、JR帰宅組は新長田へ、鉄人28号を見学の上、帰路につく。

各リーダー、参加者の皆様に感謝。今日は、この歩程で二日分をクリアした。楽しい日を過ごさせて戴き、ありがとうございました。

■黒木山 (393.2m)

<女性委員会>

●日 程：12月25日(土)

●参加者：A班 L小田 SL徳本 生永 垣内 黒本 佐野 田中(由)

B班 L尾内 SL高島 笹木 立花 橋本(万) 松本(聡) 山本(清)

●行動記録：駐車場9:10発～みはらしの小径登山口9:20発～東屋(10:15着)10:25発～展望台(11:20着)11:50発～山の交差点12:10発～黒木山(12:30着)12:45発～駐車場(13:15着)

◆なか・やちよの森公園 黒木山

山本(清)

多可町にある“県立なか・やちよの森公園”は黒木山山域を挟んで西側に溪流広場、東側に湖畔の広場があり森遊び、小川遊び、森林浴、山歩きなど思い思いのスタイルで里山の四季を楽しめる公園です。今回は湖畔の広場の駐車場へ集合しました。

数日前からの予報ではかなり強い寒波がやってきますと発表されており、凍結があるかもしれないので念のため軽アイゼンを持参してくださいとリーダーさんからのメールでザックに詰めて家を出ました。

集合場所から目的地の黒木山は目の前に聳えています。今回は直登ではなく先ず右手に翠明湖を見ながら山の中腹を登り下りしながらみはらしの小径の東屋を目指して歩きました。冷たい風が吹いてはいましたがアップダウンの厳しい道で汗が流れました。途中「タムシバ」の木があり、幹の周りが30cm位はありそうな木が6本集まって生えていて見上げると後へひっくり返りそうになるくらいに高い木でした。花の咲くころにもう一度訪れてみたいと思いました。

東屋を過ぎるとこんどは翠明湖を左に見ながら黒木山を目指して歩きました。たくさんの濡れた落葉に足を取られないよう気を付けながら歩きました。岩場に差しかかると苦しくてしだいに無口になりました。そんなとき「あっ虹だ！」とだれかの声が出て振り向くと遠くにきれいな虹がかかっ



ていました。スマホでも写せるほどくっきりとしていて今日の私たちへのご褒美のようでした。虹を見ると何故か嬉しくて心が和みます。

展望台へ到着して少し早めのお昼休憩で、和気あいあいお喋りに花が咲きました。その頃の空は黒い雲に覆われて今にも雨(雪)が降りそうでした。お腹いっぱいになった後は黒木山を目指して尾根歩きですがリュックが軽くなったぶん身体の動きはのろくなりました。

黒木山(393.2m)の山頂から 360 度の展望を楽しんだ後は駐車地の湖畔の広場を目指して急坂を下りました。低山でも必ず難所はあるなって今回も実感しました。

下山後は湖畔の広場の施設をお借りしてリーダーさんからお心づくしのコーヒータイムをしていただき、心も身体もほっこりとなりました。アイゼンを履いたり、雨に遭うこともなく今年最後の山行を楽しく歩くことができました。みなさまお世話になりました。

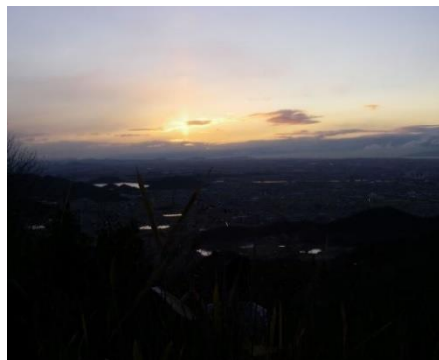
■元旦ご来光登山 高御位山

●日 程：1月1日(土・祝)

●参加者：L砂川(延) 阿久津 乙坂 木下 笹木 島本 福田(+1) 安田 山下 須増

報告：砂川(延)

長尾新池駐車場は6時前には一杯になっていた。例年通り早く集まったメンバーには先に出発していただいた。集合時間の6時30分頃まで待ったが会のメンバーは来なかったので出発する。



長尾から登山道を上っていくと、いつも休憩する鉄塔下には既にご来光を待ち受けている人々がいる。その上の岩盤を上ったところにもご来光を待っている。

いつもの通りトラバースのルートを上ると成井からの合流点手前の岩盤上にも、すでにご来光を待ち受けて一杯の人々で溢れている。神社上がるのにも、この待ち受けている参拝者をかき分けて上らなければ歩けない状態だった。高御位神社境内は相変わらず参拝者が参拝のため行列して並んでいる状況だった。

高御位神社で例年通り神社世話役の長谷川さんにご祝儀を奉納してもらい、ご挨拶を済ませて頂上西側のいつもの場所に高御位山遊会のメンバーと合流してご来光を待ち受ける。

すでにご来光の時間が迫っており、東の空が赤みを帯びてきている。今年も、水平線上には雲の帯が広がっており、初日の出は少し遅れて7時13分頃だった。

今年は神社に上がらず途中のピークでご来光を待ち受ける人々が多い感じだった。それだけ高御位神社を中心とした頂上付近の人出の多さを避ける傾向がみられるようだ。

例年、初日の出の後に万歳三唱があったが、今年は、誰も呼びかけがなかったのは少し寂しく感じたご来光だった。

今年も、福田さんの娘さんを含め、11名がいつもの場所でご来光を待ち受け、ご来光を受けた後は、いつも通り現地で解散して終了した。

■新春トレーニング山行 高御位山～桶居山

●日 程：1月3日(月)

●参加者：1班 L須増 SL小田 天野 兼澤 佐野 中村 三木(悦)

2班 L島谷 SL平井 笹木 砂川(延) 徳本 春本 福原 藤原(浩)

3班 L尾越 SL尾内 上田 乙坂 香川 木村 澤田(律) 田中(重) 橋本(健)

●行動記録：

[1班] 長尾新池 9:15 発～高御位山(10:00 着)10:10 発～桶居山分岐 10:50～37番鉄塔(11:50 着・昼食)12:10 発～桶居山(12:35 着)12:45 発～240m鉄塔のあるピーク(13:10 着)13:15 発～別所中池(14:00 着)14:15 発～209mピーク 14:50～百間岩上 15:10～鹿嶋神社(15:25 着)15:35 発～長尾新池(16:00 着)

[2班] 長尾新池 9:15 発～高御位山(10:00 着)10:15 発～桶居山分岐 10:55～37番鉄塔(12:05 着・昼食)12:30 発～桶居山(12:55 着)13:10 発～37番鉄塔(13:35 着)13:40 発～別所中池(14:30 着)14:40 発～209mピーク 15:10～百間岩上(15:30 着)15:35 発～鹿嶋神社 15:50～長尾新池(16:25 着)

[3班] 長尾新池 9:15 発～高御位山(10:00 着)10:10 発～桶居山分岐 11:00～37番鉄塔(12:05 着・昼食)12:30 発～桶居山(13:00 着)13:10 発～37番鉄塔 13:35～別所中池(14:40 着)14:50 発～209mピーク 15:30～百間岩上 15:45～鹿嶋神社 16:00～長尾新池(16:35 着)

◆2022年“新春トレ”に参加して

天野

1月3日(月)“新春トレ”に参加してきました。

朝9時、長尾新池駐車場に集合です。“毎日高御位山”で土・日は阿弥陀側から登るのでいつもの駐車場に自転車を駐輪し歩いて集合場所に行く途中で見た予想以上の参加者数にちょっとびっくり！でも当日参加の方達の顔を見て心ウキウキになったのは私だけかな！！

※山遊び 1年の計は“新春トレ”にあり！

・天気よし、メンバーよしで楽しく歩けたので山遊会山行にどんどん参加する。

(単なる自分の気持ちですが)

・負荷トレしなかったけど距離は歩けそうなので夏山登山には参加する。

(コロナ禍で実施できるか心配ですが、南アルプスに行きたいです)

・初めての山歩き教室の終了山行にサポーターとして参加する。(テン泊+宿が理想)

(自分達の終了山行でサポートしていただいた中村さんと一緒にでき思い出したので)

絶好の登山日和だったので他の団体も登りに来ていて長尾から一緒に登り出しましたが、リーダー判断のおかげで鉄塔付近で先行する団体とコース変える事で追い抜くことが出来ました。のちは先で渋滞することも無く高御位山山頂にスムーズに登れました。山頂の高御位神社境内は“毎日高御位山”の方々や一般の登山者及び姫路から来た団体やらで混雑状態でした。

神社前で姫路から来た団体の記念写真を何故か私が撮りました。(いつも撮ってもらっていたので撮ってやるオーラが出ていたかも?)

トイレ休憩も済ませ縦走路の桶居山分岐へ、何度か桶居山には行っていますがちゃんとした登山道の記憶が無い(一度は“毎日高御位山”のメンバーの先頭で桶居山まで歩いているのですが)37番鉄塔で昼食！素早く食べるトレーニングの為、カップ麺は持参せずおむすび+味噌

汗にしましたが一大事、サーモス水筒がザックに入っていない、持ってくるのを忘れたとつぶやいていたら“お湯あるよ”と言って熱湯をくれた佐野さん、有難うございました。（心も身体も温まりました）

桶居山が近づくと毎年桶居山をバックに集合写真を撮っていたのに今年は歩きが楽し過ぎて忘れてしまいました。でも、頂上では毎年1月3日に桶居山に登っている知り合いが居るのでスナップ写真のように表情豊かな写真（シャッターをバチバチ切っただけでした）を撮ってもらうことが出来ました。



これから帰路。これまで誰も疲れたと言っていないのでハイピッチで歩き続けるリーダーこの調子なら別所中池まで休憩なしで歩くの

かなと思いましたが 240m 鉄塔のあるピーク付近で 5 分休憩してくれました。別所中池までの下り坂を脚力温存するためゆっくり下りるようにと助言をいただきました。中池で 10 分休憩して高御位山縦走路への登り返しです（5 ピークの登り下りあり）、脚力温存しておくことの大切さが分かりました。

縦走路に登り着いたのは 15:00、長尾新池駐車場着予定の 16:00 までは 1 時間あるので慌てず百間岩を下り鹿嶋神社に無事下山、“ついで参り”はせず一目散にトイレへ！空いててよかったです。残念ながら参道で着物姿の参拝者を見かけることも無く、車道をおしゃべりしながら歩いて予定通り 16:00 新池駐車場に元気に帰ってくる事が出来ました。

本当に楽しい山歩きが出来たのもゼネラルリーダー上田さんのおかげです、ありがとうございました。来年も“新春トレ”計画よろしくお願いします。

※須増リーダー、小田サブリーダー、助言をくださった先輩の皆様大変お世話になりありがとうございました。

◆予想外？「陽気な！」新春トレ

春本



【桶居山】

今まで正月手当狙いだった仕事があって 2 回スルーしていたのが、今回初めて参加させて頂いた新春トレで、まず会員の方々に新年の挨拶から、今年もよろしくです。

ひと月ほど前浴槽でこぶら返りして腫れてしゃがんだりするのも辛かったのが、31日に成井から年末のご来光を見て小高経由で歩けたのです、家ではあんなに痛かったのに。

集合時間の 30 分前に着くよう家を出たとき車の気温計は -2℃ でした。その後の展開は私の予想から大きくちがったのです。

班分け後にリーダーから感想文は春本さんお願い・・・、あれっ?? 当日参加は役割分担がないと思ってました。

登り始めると、うちの参加者によそのパーティがかわり長蛇の列が高御位をめざします、天気が良く頂上でも

風がなくみんなが衣服調整する。終始山行中に吹く風は爽やかで正月らしくはなく、私は寒さを予想して正月にと新調したレイヤーが的外れなのです。

ザックの食料とおすそ分けとで背中からお腹へと重心が移った昼からも、足の方はなんとかもっています。最初から使用したストックの石突ゴムが磨耗して無くなってる。

陽が西に傾く光が、慣れたコースでもまた違った感じで、桶居と高御位が観えるピークは播磨のマッターホルンのあるミニアルプスみたいに絶景でした。

百間岩降りは強制足首ストレッチになり、鹿嶋さんの参拝者にカチカチ音のストックで注意を促し入場する長蛇の車列を観ながら「日の暮れのお参りでしょう。」と思いながらおつかれ山でした。

◆初めての新春トレ

木村

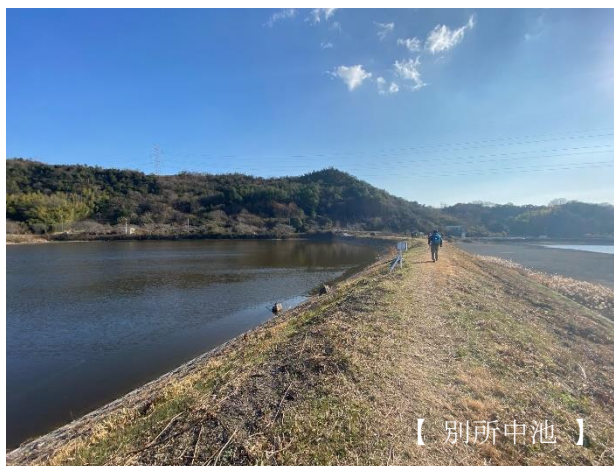
今年初めて新春トレーニングに参加しました。今までは、正月三が日は家でゆっくり過ごし、きつい新春トレに行くことなど考えていなかったのですが、昨年末から、今年は少し頑張らないと、と思い参加しました。

当日は年末年始の寒波が嘘のように穏やかな好天のもと、歩くことができました。

ただ歩行時間が7時間にもなると、最後まで歩くことができるか、途中でリタイアすることにならないかと緊張しながらの山行になりました。

登りはじめて暫くするともう汗が出てきて、時おり吹く風も気持ちよく感じました。

高御位山は多くの登山者で賑やかでしたが、桶居分岐からは出会う人も少なく急に静かになりました。桶居山手前の鉄塔で高御位山を眺めながら昼食をとり、さあ～桶居山の急登です。登りはまだいいのですが、岩場を下るのが最近怖くなって、つい下りのことを心配してしまいました。



別所中池まで下りて一休みしてから、またきつい登りが始まりました。奥山分岐の先の反射板も遠く感じられました。奥山分岐からいつものコースに入ると、疲れてはいるものの気分的に余裕がでてきて、鹿嶋神社への車の大渋滞を眺めながら下山しました。

そして、長尾新池で沈んでいく夕日を見ながらストレッチをして帰路につきました。

リーダーはじめ皆さんお世話になりました。

皆さんと一緒に最後まで歩くことができました。ありがとうございました。

■高森ボランティア活動と土曜トレ

<合同>

●日 程：12月18日(土) 市ノ池公園研修所前・午前9時集合

●参加者：生永 上田 内海 大谷 小田 笹木 佐々木 島本 砂川(延) 荘所 春本 藤原(千)
待場 三木(悦) 村上 森本 和田

●作業場所：市ノ池公園キャンプ場裏から尾根に至る登山道の整備

- 作業内容：登山道の草刈りと登山道の整備作業
- 市ノ池公園バーベキューサイト：ぜんざいパーティー
- 作業時間：9:00～10:30

報告：砂川(延)

寒い中でのボランティアお疲れさまでした。当日は今年最後の土曜トレと高森ボランティア合同例会を第3土曜日に設定して行った。

市ノ池公園研修所前に集合して、まずは高森ボランティア活動として研修所の駐車場裏からの二つのルートで高御位山の尾根に上がる登山道の整備作業を行った。

参加者が多かったので、二つのルートに分かれて尾根の合流点までの登山道の整備作業を行った。去年も同じルートで同じように整備作業を行い、終了後ぜんざいパーティーを行っている。

作業終了後、市ノ池公園バーベキューサイトに移動、佐々木さんお手製のぜんざいに舌鼓を打ち、今年最後の土曜トレ、高森ボランティア活動の終了を迎えた。



■高森ボランティア活動

- 日 程：1月15日(土) 阿弥陀ローソン駐車場・午前9時集合
- 参加者：阿久津 生永 上田 内海 大谷 澤田(律) 島本 砂川(延) 須増 荘所 藤原(千) 待場 三木(悦) 森本 和田
- 作業場所：国道2号線豆崎交差点高御位山登山口から尾根に至る登山道の整備
- 作業内容：登山道の草刈りと整備作業
- 作業時間：9:00～10:00

報告：荘所

当日は車を阿弥陀ローソンの駐車場を借用して、豆崎交差点から上がる高御位山登山口から尾根までの登山道の草刈り作業と一部樹木の伐採を行い、登山道を歩きやすく整備した。

この豆崎からの登山道を整備してから、JR曾根駅から高御位山への入口として、かなり登山者が通過していることが、登山道の踏み跡からうかがうことができる。ただ、下部は猪?に荒らされている状況が見受けられる。こんな国道の側まで活動の場をひろげてきているのだろうか。当日は参加者が多かったこともあり、短時間で作業を終了することができた。ご参加のみなさんお疲れ様でした。